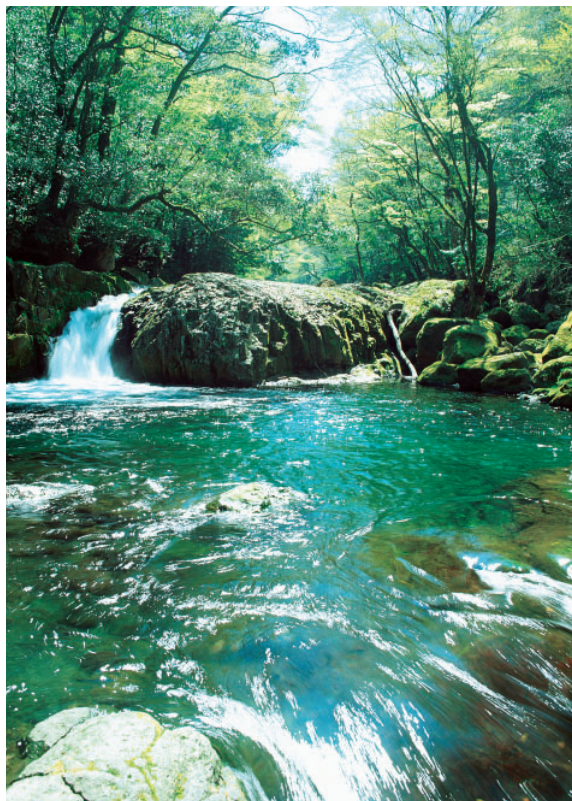


第60期 事業のご報告

2014年10月1日～2015年9月30日



We love “TATEMONO”



証券コード：1795

株主の皆様へ



代表取締役社長

荻谷 純

拝啓、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度となる、ここ1年間の我が国経済は、政府、日銀によるデフレ脱却政策、訪日外国人消費の増加等により順調に回復傾向を辿っているものの、最近の中国の成長力鈍化等の影響もあり、不透明感が払拭できない状況にあります。

建設業界におきましては、政府建設投資は減少傾向にあったものの、景気回復傾向を反映したオフィスやホテル建設の需要増加等により、民間建設投資が堅調に推移しました。しかしながら、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての堅調な建設需要に対する労務需給逼迫の状況は依然として改善されておらず、労務費上昇によるコスト増加等、業界を取り巻く経営環境は先行き不安要素が残る状態が続きました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「つねに発展し続ける未来型企業を目指す!」の最終年度の方針として、「フレキシブルに対応できる企業を目指す」と「現場力の強化」を掲げ、いかなる市場の変化にも対応できる強靱な体質を創り上げるとともに、「新たな顧客の開拓」と「技能員の確保と育成」を成長戦略の柱とし、永続的に発展する企業となることを目指してまいりました。「新たな顧客の開拓」につきましては、顧客情報の収集に努め、直接受注の着実な増強を図り、「技能員の確保と育成」では、技能員の労働環境、教育指導環境を整備し、当社での新卒採用を開始する等、若年層技能員の確保に努めてまいりました。また、協力会社とともに、機動力・技術力を強化し、積極的にお客さまのニーズにお応えするとともに、受注内容や工程の変更に対して工事利益の採算性に留意した的確な対応ができる体制作りを目指してまいりました。

この結果、当連結会計年度の受注高は、100億43百万円となり、売上高は、99億74百万円と当初予想を上回りました。利益面におきましては、固定資産の効率的運用と財務の堅実性を高めるため固定資産を売却し、特別損失1億77百万円を計上したものの、最終的に当初予想を上回り、営業利益4億28百万円、経常利益4億17百万円、当期純利益1億69百万円となりました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

財務ハイライト

当連結会計年度の業績

■売上高

9,974百万円

■経常利益

417百万円

■当期純利益

169百万円

■1株当たり当期純利益

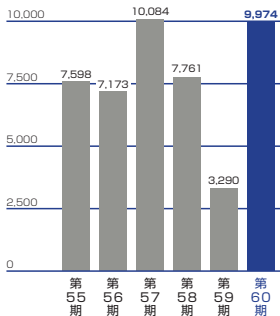
37円75銭

2015年12月

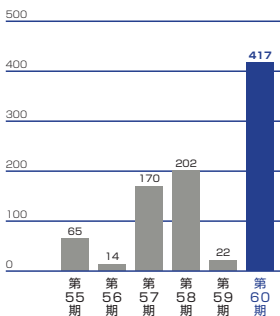
財務ハイライト



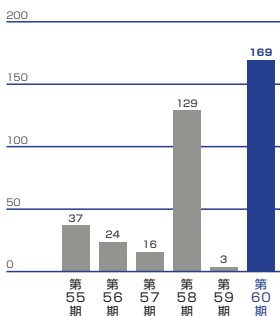
売上高 (単位:百万円)



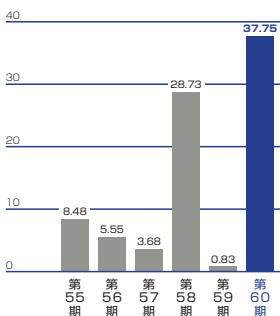
経常利益 (単位:百万円)



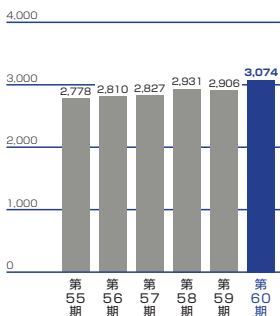
当期純利益 (単位:百万円)



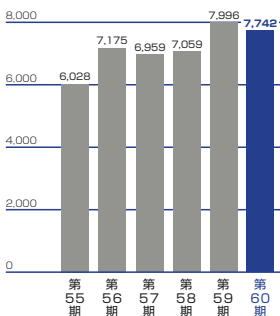
1株当たり当期純利益 (単位:円)



純資産 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



	第55期 2011年3月期	第56期 2012年3月期	第57期 2013年3月期
売上高 (百万円)	7,598	7,173	10,084
営業利益(△損失) (百万円)	47	△23	184
経常利益 (百万円)	65	14	170
当期純利益 (百万円)	37	24	16
総資産 (百万円)	6,028	7,175	6,959
純資産 (百万円)	2,778	2,810	2,827
1株当たり当期純利益 (円)	8.48	5.55	3.68
従業員数 (人)	77	91	89

	第58期 2014年3月期	第59期 2014年9月期	第60期 2015年9月期
売上高 (百万円)	7,761	3,290	9,974
営業利益 (百万円)	201	29	428
経常利益 (百万円)	202	22	417
当期純利益 (百万円)	129	3	169
総資産 (百万円)	7,059	7,996	7,742
純資産 (百万円)	2,931	2,906	3,074
1株当たり当期純利益 (円)	28.73	0.83	37.75
従業員数 (人)	95	110	106

※ 当社は第56期以降連結財務諸表を作成しております。よって財務ハイライトの数値は、第55期はマサル単体の数値、第56期から第60期までは連結の数値を記載しております。

※ 第59期(2014年9月期)は決算期変更により、2014年4月1日から2014年9月30日までの6ヶ月間となっております。

財政状態の概況



資産・負債の状況 第60期(2015年9月期) (単位:百万円)

流動資産	6,856	流動負債	4,094
		固定負債	573
固定資産	885	負債合計	4,668
		純資産合計	3,074
資産合計	7,742	負債純資産合計	7,742

キャッシュ・フローの状況 第60期(2015年9月期) (単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	694 (収入)
投資活動によるキャッシュ・フロー	68 (収入)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376 (支出)
現金及び現金同等物の期末残高	936

工事のご紹介

主な施工中工事のご紹介



キャロットタワー
(リニューアル工事)



勝どき五丁目地区第一種市街地
再開発事業施設建築物等新築工事
(シーリング防水工事)



大久保三丁目西地区A-1
(メンブレン防水工事等)

主な当期完成工事のご紹介



浦安ブライトンホテル外壁全面補修工事
(リニューアル工事)



東京日本橋タワー
(メンブレン防水工事等)

対処すべき課題

会社の対処すべき課題

足元では、わが国の建設市場は、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催、国土強靱化計画等により、堅調に推移するものの、労務逼迫、品質性能向上の社会的要請等によるコスト上昇の懸念もあり、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。中長期的には、東京オリンピック・パラリンピック後の建設需要の急減、更には、人口減少による建設需要減少の顕在化、これら不確実的要素によるマーケット変動への懸念は払拭できない状況にあると認識しております。

当社グループは、信頼される専門家集団が差別化された技術と技量で、高品質と安全を、お客さまに提供し続けることが社会的使命であると考えます。この社会的使命を果たすとともに、人材を育成し後継者を育てること、社員がビジョンを持って業務に励むことで、企業収益を継続的に生み出す体制を維持し、社業の持続的発展を目指します。激動する経営環境の中でも、お客さまのニーズに積極的にお応えできるよう、「生産力の強化」「営業力の強化」「現場力の強化」を進め、経営革新に取り組んでまいります。

新中期経営計画（平成27年10月～平成30年9月）では、経営方針「革新への挑戦」に基づき、激動するマーケットに対応できるよう、マサルブランドを継承しつつ、「あたらしいマサル」に向けた人材や事業への先行投資を行い、機動的且つ効率的な生産力の強化、既存マーケット深耕営業と新たなマーケット開拓の強化、信用と確実性を持った現場力の強化に努めてまいります。新たに「社長室」「経営戦略室」「協力会社育成室」を立ち上げ、迅速な経営施策実施、事業領域拡大の模索、協力会社の生産力向上に取り組んでまいります。更に、「技術本部」を設け、マサルブランドの源である技術と技量の強化に注力いたします。社会的要請でもある建設技能員増強については、技能員の労働環境の改善を目指し、協力会社も含めて、技能員の採用と育成に取り組んでまいります。

株式の状況

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 17,300,000株
 発行済株式の総数…………… 4,505,757株
 株主数 …………… 718名

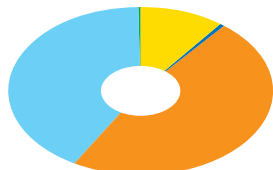
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社 操 上	800,000株	17.81%
株式会社 苺 谷	540,000	12.02
化研マテリアル株式会社	215,500	4.80
苺 谷 純	202,225	4.50
株式会社みずほ銀行	188,650	4.20
マサル協力企業持株会	168,700	3.75
野口興産株式会社	132,100	2.94
日本生命保険相互会社	129,200	2.88
マサル従業員持株会	128,029	2.85
菅野産業株式会社	110,000	2.45

(注) 1. 当社は自己株式 (13,048株) を保有しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

金融機関	7名	472千株	10.49%
証券会社	5名	18千株	0.41%
その他国内法人	29名	2,139千株	47.49%
個人・その他	674名	1,860千株	41.29%
外国人	2名	2千株	0.04%



所有株式数別株式分布状況

1~999株	91名	3千株	0.07%
1,000~4,999株	573名	1,004千株	22.30%
5,000~9,999株	16名	97千株	2.16%
10,000~49,999株	23名	523千株	11.62%
50,000~99,999株	4名	249千株	5.53%
100,000~499,999株	8名	1,274千株	28.28%
500,000~999,999株	2名	1,340千株	29.74%



会社概要

会社の概況 (2015年9月30日現在)

社 名 株式会社 マサル
 設 立 1957年9月
 本 社 東京都江東区佐賀一丁目9番14号

従 業 員 数 92名
 営 業 所 第1営業部 (東京都江東区)
 第2営業部 (東京都江東区)
 第3営業部 (東京都江東区)
 たてもの改装部 (東京都江東区)
 千葉営業所 (千葉県市川市)
 (株)塩谷商会 東京都大田区蒲田三丁目23番7号

取締役および監査役 (2015年12月18日現在)

代表取締役社長 苺 谷 純
 取締役副社長 操 上 悦 郎
 常務取締役 齊 藤 誠 一
 取 締 役 山 崎 栄 一郎
 取 締 役 近 藤 雅 広
 取 締 役 高 橋 雅 一
 取 締 役 勝 又 健
 社 外 取 締 役 七 海 覚
 常 勤 監 査 役 大 木 信 雄
 社 外 監 査 役 近 藤 忠 憲
 社 外 監 査 役 柴 谷 晃

株主優待制度について

当社は決算月 (9月末) および中間決算月 (3月末) 現在で一定株数以上保有の株主様に対して、「ジャンボ宝くじ」を贈呈いたしております。

株 主 優 待 の 内 容

9月30日現在で3,000株以上保有

◆「年末ジャンボ宝くじ」10枚贈呈

3月31日現在で1,000株以上保有

◆「サマージャンボ宝くじ」10枚贈呈

※ 発送は宝くじ発売初日を予定しております。

(発売月の目安)

年末ジャンボ宝くじ…………… 11月
 サマージャンボ宝くじ…………… 7月

株 主 メ モ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
 定時株主総会 毎年12月
 基準日 定時株主総会 毎年9月30日
 期末配当 毎年9月30日
 中間配当 毎年3月31日

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

電話照会先

(インターネット
 ホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL <<http://www.masaru-co.jp/>>

上場金融商品取引所

東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

We love "TATEMONO"



〒135-8432 東京都江東区佐賀一丁目9番14号

Tel 03-3643-5859 Fax 03-3643-5481

<http://www.masaru-co.jp/>